

エアサスと組み合わせて
さらにベストなセッティングに!

●CSWで販売するレガードネオはエアサスを標準装備。リヤのメインリーフとフレームの間に空気の入ったエアバッグを挟み込み、コントローラーで空気圧を調整。しり下がりになりやすい車体姿勢の補正が主目的で、圧縮空気を作るコンプレッサーを床下に設置



カーセールス・ワタナベ
渡辺 衆博 代表



●「ボクの分身みたいな存在です」と、カムロード用ショックへの想いを語る渡辺代表。街乗りでの「ゴツゴツ」とした硬さを取り去るためにはKYBのハーモフレックが不可欠だった。同時開発のスタビトーションバーもメイドインジャパンのKYB製で統一した



●もともと低重心のレガードネオだが、足まわり強化で快適な乗り心地と優れた操縦安定性を両立した



ハーモフレック® 機構を搭載し、
減衰力を14段階調整できる
ショックアブソーバー

●カムロード用で唯一のハーモフレック内蔵ショックアブソーバー。14段階の減衰力調整機構が備わり、数字が大きくなるほどハード、小さくなるほどソフトな設定。推奨値はフロント8、リヤ6。レガード以外のカムロードにも装着可。今後リヤダブルタイヤ仕様への適合も確認する

●上から強化トーションバー、純正トーションバー、フロント強化スタビライザー、純正スタビライザー。トーションバーはフレームに沿って装着され、車高調整が可能。スタビは乗り心地を損なわずに車体の傾きを抑える



乗り心地が思いのまま!
ユーザーベストな
セッティングが
可能な足まわりパーツ

「街乗りで気になる微振動や揺れを解消するためには、ハーモフレックしかない。ハーモフレックしかない」と語る渡辺代表。純正サスペンションを数多く手がけるKYBのエンジニアと二人三脚で開発を進めた。ショックと同時に開発された強化タイプのフロントスタビライザーとトーションバーを装着した、レガードネオに試乗した。すぐに体感できたのが、おしりに伝わる振動や突き上げが少なくなること。中立からハンドルを切り込んだ際の手こたえが明確で、コーナー途中でハンドルを切り足したり戻したりといった余計な操作が要らず、意のままに操れる。ドライバーにも同乗者にも優しく、ユーザーの期待にこたえる仕上がりだ。

のKYBが開発した「ハーモフレック®」内蔵のショックアブソーバーだ。ハーモフレックとは、入力する周波数に応じて減衰力を変化させる機構のことで、ピストンロッドの先端部に組み込まれる。コーナリングや高速走行のような、大きくゆっくりした動き(低い周波数)では減衰力を高め、路面の凹凸をこまめに拾うような小さく速い動き(高い周波数)では、減衰力を低くする仕組みだ。

「街乗りで気になる微振動や揺れを解消するためには、ハーモフレックしかない。ハーモフレックしかない」と語る渡辺代表。純正サスペンションを数多く手がけるKYBのエンジニアと二人三脚で開発を進めた。ショックと同時に開発された強化タイプのフロントスタビライザーとトーションバーを装着した、レガードネオに試乗した。すぐに体感できたのが、おしりに伝わる振動や突き上げが少なくなること。中立からハンドルを切り込んだ際の手こたえが明確で、コーナー途中でハンドルを切り足したり戻したりといった余計な操作が要らず、意のままに操れる。ドライバーにも同乗者にも優しく、ユーザーの期待にこたえる仕上がりだ。

注目
IMPRESSION

CSWオリジナルフロント
強化スタビライザー

価格：4万2000円(税別)



CSWオリジナル
強化トーションバー

価格：2万3000円/1本(税別)

CSWオリジナル
ショックアブソーバー

価格：2万3800円/1本(税別)



●CSWではエアサスを含めた足まわりパーツの装着や車検、メンテナンスの作業効率を高めるために、空調付きのビットを増設した



カーセールス・ワタナベ

カムロード用
オリジナルパーツ

キャンピングカーの乗り心地に関する長年にわたる研究が、カムロードに特化したオリジナルの足まわりパーツ群に昇華した。1台1台、そして1人ひとりのキャンピングカーユーザーの走り方や乗り心地の好みに対応できるセッティングが可能なのだ。

TEXT: 湯目由明 PHOTO: 佐藤亮太

カーセールス・ワタナベ

定休日: 毎週火曜・水曜(祝日は営業)
東京都清瀬市下宿2-412-2
☎042-496-7272 FAX 042-495-9100
www.cs-watanabe.co.jp

キ

キャンピングカーの乗り心地改善に取り組むカーセールス・ワタナベ

「CSW」。長年キャブコンを愛用する渡辺衆博代表は、自身の豊富な経験やユーザーの要望を取り入れた、カムロード専用のショックアブソーバーを商品化した。カムロードの純正サスペンションに対する不満の多くは「乗り心地の硬さ」。キャンピングカー専用シャシーとはいっても、ベースは商用トラックのダイナミクスからフル積載まで対応できるように、シャシーは頑丈なフレーム構造で、リヤサスペンションは高耐荷重のリーフスプリング(板ばね)が使われている。車重を支える板ばね自体が硬く、ばねの動きを抑えるショックアブソーバーの減衰力(車体の振動を抑えようとする抵抗力)も高めに設定されているので、路面の凹凸や段差などを通過する際に強い突き上げが発生する。乗り心地を改善するためには、ショックの減衰力を低くすれば解決するのでは?と思うかもしれないが、コーナリングやレーンチェンジで車体姿勢が安定せず、ハンドリングが犠牲になる。そんな、乗り心地と操縦安定性という相反する課題を両立するのが、サスペンションメーカー